



坂本長利 SAKAMOTO Nagatoshi

俳優。1929年10月14日、島根県出雲市生まれ。1951年、山本安英、岡倉士朗らが主宰する「ぶどうの会」に入団。1953年、木下順二作「風浪」で初舞台を踏み、さらに木下作「三年寝太郎」、宮本研作「明治の樞」などに出演した。1964年、「ぶどうの会」解散後の翌65年、竹内敏晴、和泉二郎らと演劇集団「変身」を結成。東京・代々木の「代々木小劇場」を本拠地に小劇場運動の先駆けとなるとともに、宮本研作「とべ、ここがサド島だ」「ザ・パイロット」、秋浜悟史作「冬眠まんざい」などの舞台に立った。1971年、「変身」解散後は映画・テレビドラマにも多数出演。最近では『Dr.コトー診療所』の村長役をはじめ、『北の国から』『坂の上の雲』等にも出演した。民族学者・宮本常一氏の聞き書きによる「土佐源氏」を独演劇化し、1967年の初演以来、出前芝居と称して日本各地をはじめ、ポーランド、スウェーデン、ドイツ、オランダ、ブラジル、ペルー、イギリス、韓国等にて海外公演も。1985年、紀伊国屋演劇賞特別賞、2000年、旅の文化賞を受賞。1996年1月、広島・因島公演で1000回を突破した。2012年3月の福島県昭和村公演で1150回となり、現在も公演回数を伸ばしている。2013年公開予定の、坪川拓史監督・映画「ハーメルン」主演。(共演は西島秀俊、倍賞千恵子ほか)。

坂本長利に関するお問合せは、響和堂(Tel.080-4200-0808 / info@kyowado.jp)にご連絡ください。



会場：「座・高円寺2」  
交通：JR中央総武線（東京メトロ東西線乗入）「高円寺駅」北口より徒歩5分  
東京都杉並区高円寺北2-1-2 <http://za-koenji.jp/>



昔、坂本さんに小さな献詩を書いたことがある。  
創るということは 遊ぶこと  
創るということは 狂うこと  
創るということは 愛すること  
創るということは 生きるということ  
坂本さんと仕事をしていて その言葉が浮かんだ。  
倉本聰

坂本さんにお目にかかっていると、突然ある気合いに打たれることがあります。「自分の好きなことをして生きているのだから、世間並みの仕合せなどむろん望みはしないしいつでも野垂れ死にしてもかまわない」という覚悟が、静かに、勁く伝わってくるのです。この気合い、この覚悟が、たとえば「土佐源氏」への凄烈なこだわりにあしらわれていることは申しあげるまでもありません。坂本さんのこの気合いや覚悟に、私などもよほど見習わなくてはなりません。  
井上ひさし

「土佐源氏」とは、山口県出身の民俗学者・宮本常一氏の著書「忘れられた日本人」に登場する盲目の老人、高知県檜原町ゆすほらで実際に聞き書きした馬喰(牛馬売買人)の一代記を、坂本長利が独演劇化したものです。それは昭和42年、新宿にあったストリップ小屋の幕間狂言から始まりました。当時37歳でこの老人を演じてから46年、上演回数は1160回を超え、現在も呼ばれればどこへでも行く「出前芝居」を続けています。演劇界の至宝ともいえるその芸を、お見逃し無くご堪能ください。

チケットのお申し込み

Ticket ¥3,900 (全席自由) ホームページ <http://kyowado.jp> Fax 03-3610-5740

Faxにてお申し込みの場合は、お名前・ご住所・ご連絡先電話番号・チケット枚数を明記の上、ご送信ください。お申し込み受付期間は6月6日(木)迄です。以降は電話にてお問い合わせください。未就学児童のご来場はご遠慮ください。

お問い合わせ Phone 080-4200-0808 Fax 03-3610-5740 e-mail [info@kyowado.jp](mailto:info@kyowado.jp)